

平成 26 年9月8日開催

支援相談員部会 支援相談員部会 新人研修

アンケート集計

部会出席者 名 回収 46 名

① 今回の研修内容について

(1) 研修のテーマは興味を感じるものでしたか？

- | | |
|--------------|------|
| a) 興味がある | 44 名 |
| b) 興味を感じない | 0 名 |
| c) どちらともいえない | 2 名 |

(2) 内容に対して研修時間は適切でしたか？

- | | |
|--------|------|
| a) 長い | 4 名 |
| b) 適切 | 40 名 |
| c) 短い | 0 名 |
| d) 無記名 | 2 名 |

《備考意見》 半日が良い

(3) 研修のレベルは適切でしたか？

- | | |
|-------|------|
| a) 高い | 1 名 |
| b) 適切 | 45 名 |
| c) 低い | 0 名 |

(4) 研修内容は今後の業務に生かされると思いますか？

- | | |
|--------------|------|
| a) 思う | 44 名 |
| b) 思わない | 0 名 |
| c) どちらともいえない | 2 名 |

(5) 今回の研修で、誓った言葉と、選んだ理由をあげてください。

言葉 ・コミュニケーションをとっていく。他職種共働。

理由 ・コミュニケーション不足を感じる。忙しさにバタバタしていて自分がどうしたいかわからなくなっている。

言葉 ・連携を上手に取るには、普段からのコミュニケーション、人間関係の構築が大切

理由 ・今まきに行きづまっているところだから。

言葉 ・本人の希望

理由 ・家族との話し合いだと家族の希望ばかりが聞かれるので、あらためて本人を理解することが大切だと感じた。

言葉 ・家族に対して視野を広げるのがSWの仕事。

理由 ・こちらから提案し、決定してもらうのは、あくまで家族でその選択肢を広げるのも大切だと気付かされました。

言葉 ・他職種との連携

理由 ・板挟みになってしまうことが多い、協力して頂ける職員の方が多くいる為、大切にしたいと思ったので。

言葉 ・維持期

理由 ・初めて聞いた言葉として、説明の中で家族に伝えやすいとおもいました。

言葉 ・希望を実現させる。

理由 ・不安の中、希望を求めてくる利用者に対し必要であるから。

言葉 ・コミュニケーション

理由 ・職場の人とコミュニケーションを多くすることで相談に来た家族への伝えられる情報も変わる。

言葉 ・普段のコミュニケーションが連携につながる。

理由 ・自分ももっとコミュニケーションとっていこうと思ったので。

言葉 ・他職種協同

理由 ・一人で仕事をしているわけではないと、改めて感じた。

言葉 ・利用者の希望

理由 ・家族の言葉だけに話を傾けている気がする。

言葉 ・コミュニケーションが日々の支援に活かせる。

理由 ・全ては退陣援助の原点からだと感じた。

言葉 ・本人と家族の想いをくみ取る。

理由 ・一番大切なものだから。

言葉 ・相談員同士の横のつながりが大切。

理由 ・まさにその通りだと思います。

言葉 ・インテークの時、本人の意向も聴き取るということ。

理由 ・出来ていなかったから

言葉 ・在宅復帰

理由 ・今の施設では出来ていないため

言葉 ・少ないかもしれないけど、助け合いましょう。

理由 ・言われてみると確かに相談員は人数が少ないと思ったから。

言葉 ・コミュニケーション

- 理由 ・ 家族へ説明する時、職場で仕事をする時など、必ず必要になる大切な事。
- 言葉 ・ 老健とは在宅支援する施設と伝えるではなく、家族の合意のもとすり合わせて、在宅へ戻る施設。
- 理由 ・ 一方的に帰すのではなく、一緒に在宅目指す大切さを感じた言葉であったため。
- 言葉 ・ それぞれの世代の特性を理解をすることが必要。
- 理由 ・ 家族・本人のニーズ把握のため、意識することが必要。
- 言葉 ・ インテークが大切
- 理由 ・ 焦ってもトラブルになるかもしれない。
- 言葉 ・ 石原さんの解説
- 理由 ・ 現場の生きた情報を入れて話してくださったから。
- 言葉 ・ 家族や利用者の希望に寄り添って実現に近づけていく事が、ソーシャルワークの第一歩。
- 理由 ・ 無
- 言葉 ・ 本人の意向
- 理由 ・ 家族の意向、施設の方針が中心となり、ご本人がおざなりになっていないか振り返られたため。

(6) 今回の研修で良かった点と悪かった点を挙げてください。

◎良かった点

- ・ ロールプレイを通して、自分を客観的に評価していただいたこと。
- ・ 参加するロールプレイ
- ・ 事例検討ではほかの方の話を聞く中で、色々な方向から見ることができ、大変勉強になりました。
- ・ ロールプレイ。他の相談員の前で自分の面接場面を見てもらうことは無いので良い経験になった。
- ・ ロールプレイや事例研究。普段は業務に追われる中で出来ないことをやれて、自分の業務の振り返りになりました。
- ・ 1日という長い時間を使って話し合いができたのが良かった。
- ・ 相談者、相談員役、記録を行う事により、自分が抜けている点に気が付きました。
- ・ 自分自身の面談の方法等、振り返ることが出来ます。
- ・ ロールプレイをすることで、自分が理解出来ないことを知ることができた。
- ・ ロールプレイをすることによって、自分の面接を振り返ることができた。
- ・ ロールプレイ実践に役立てられる内容でした。
- ・ ロールプレイが中々出来ないのが良かった。
- ・ 事例検討とロールプレイ。

- ・事例検討、ロールプレイで他支援相談員の支援方法を聞くことが出来た。
- ・初心に戻れた。
- ・ロールプレイでコミュニケーションが図れた。
- ・時間、内容は良かった。
- ・インテークの基本について学べた。
- ・グループワーク、勉強になりました。
- ・それぞれのインテークの手法があり、勉強になった。
- ・介護保険や老健の今後について学べたこと。
- ・ロールプレイでインテークの難しさが改めてわかった。
- ・とても分かり易く老健のことが理解できた。
- ・グループワークだったので他の人の意見が聞け、視野が広がった。
- ・ロールプレイ、事例検討が良かった。
- ・グループ内で共感できる内容だった。
- ・面談の形を実際に事例をもとに行うことができ、第三者の方に評価して頂けたこと。
- ・ロールプレイの後、経験豊富な相談員の方からアドバイスをいただけたこと。
- ・他施設の方の考え方や方針を聞くことで、面談を行う際の“気付き”になったこと。
- ・いろいろな老健の人と話ができて、老健の重要性がとてもよくわかりました。
- ・ロールプレイ内容と石原さんの解説
- ・客観的にみられた
- ・実技、実習が行えて良かった。
- ・初期面談の重要性が再確認できたことが良かった。
- ・ロールプレイでファシリテーターの方の介入が勉強になった。

◎悪かった点

- ・事例検討の区切りが多く、少し話がしにくかった。
- ・講師の方のお話を楽しみにしていたので、いらっしゃらず残念でした。
- ・ロールプレイの順番に戸惑った。
- ・ロールプレイの順番、スライドの動作は事前の確認が必要だった。
- ・信仰としての役割を果たせなかった。
- ・P Cが重いのが残念だった。
- ・ロールプレイの段取り、講演のパワーポイント。ロールプレイの解説は個々でいいのでは？
- ・進行がスムーズでない場面が多い。

② 研修の総合的な評価について

(1) 研修に参加して良かったと思いますか？

- | | |
|---------|------|
| a) 思う | 46 名 |
| b) 思わない | 0 名 |

(2) 今後もこのような研修に参加してみたいと思いますか？

- | | |
|---------|------|
| a) 思う | 43 名 |
| b) 思わない | 1 名 |
| c) 未記入 | 2 名 |

③ 今後の研修に関して

(1) 今後、どのような研修に参加してみたいですか？

○参加してみたい内容

- ・ アセスメント技術の向上について
- ・ 職場でいかに他職種連携をとっていくか。
- ・ いかにして関係性を(施設内で)構築していくか。
- ・ 事例検討は色々な方の意見や視点が学べるので、参加して学びたいです。
- ・ 認知症の方についての対応
- ・ インテークの技法
- ・ バーンアウト
- ・ リスクマネジメント
- ・ ロールプレイの研修なら参加したい
- ・ 今回は緊張もありうまくいかなかった為、勉強したうえで再び、同じような研修を受けたい。
- ・ ロールプレイを主としたグループワーク。
- ・ 在宅復帰について
- ・ 話し方

○招いて欲しい講師

* ご意見ありませんでした

(2) 執行部に対する希望、要望をあげてください。

- ・ いつも企画ありがとうございます。
- ・ 綿密な準備の中、ありがとうございました。
- ・ とても為になりました。今後も宜しくお願い致します。
- ・ 貴重な研修を有難うございました。

- ・他老健の方との交流により、他施設の事がわかり勉強になりました。
- ・懇親会をいう形にしてしまうと出欠に影響がでてしまうので、もっと軽い形で交流が出来るものを研修の中に組み入れればと思う。

以上。